

01

川西市地域分権推進事業 ニュースレター

第1回地域夢・未来カフェ in けやき坂

地域分権制度の検討の一環として、地域課題の解決に向けた具体的な活動案を考えながら、地域分権制度についての意見をいただくため「第1回地域夢・未来カフェ in けやき坂」が開催されました。

日時：2012年10月29日（月）19:30～21:30

場所：けやき坂公民館

参加人数：市民28名＋市WGメンバー3名

当日のスケジュール

- 19:30 開会、あいさつ（総合政策部長）
- 19:50 昨年度懇談会の概要について
- 20:05 フォーラム及びテーブルワークの概要について
- 20:25 イントロ（川西クイズ）
- 20:30 テーブルワーク①『地域の課題について』
- 21:00 テーブルワーク②『実現に向けた取組について』
- 21:30 閉会

あいさつ・昨年度懇談会の概要について

総合政策部の本荘部長より、地域分権制度の構築に向けての説明がありました。地域分権が推進される社会的背景や必要性、制度の概要とともに、今年度策定される第5次川西市総合計画での位置づけについても触れられました。

また、これから3回にわたり開催される地域夢・未来カフェの目的や昨年度実施された地域別懇談会との関係などについても説明がありました。



地域分権制度とは

市の持続的な発展を図っていくためには、行政の力だけでは限界があります。そこで、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らがその解決にあたるために、一定の権限や財源を地域へ移譲する制度です。

フォーラム及びテーブルワークの概要について

キックオフイベントとして9月15日に開催された「かわにし夢・未来フォーラム」の報告がありました。地縁型組織とNPOやボランティアなどのテーマ型組織の連携の必要性、面識社会の回復の重要性、市職員の果たすべき役割などについての意見交換が行われたとの説明がありました。

次に、カフェでのテーブルワークの方法についての説明がありました。まず、昨年度実施された懇談会の結果をふりかえり、「地域の課題」や「地域のありたい姿を実現するための取組」の内容を共有しました。その上で、2種類の色のシールを使って投票しながら、特に重要な課題や取組をみんなで議論し、検討していくという流れの説明がありました。

テーブルワークに入る直前には、イントロダクションとして、日本全体や川西市の状況についてのクイズが出題されました。



テーブルワーク

後半は、まず4つのグループに分かれてテーブルワークを行い、さまざまな意見を出した後に、全体で特に重要な課題と取組を投票しました。高齢者支援や子育て環境の充実、交通の利便性などの意見については、課題と取組両方で多くなっており、地域のつながりなどについては重要な取組として考える人が多くなっています。



◆地域の課題について（重要だと思う課題を1人3点選ぶ）

| 地域の課題 | 点数 | 追加された主な意見 |
|----------------|----|--|
| 地域コミュニティの強化 | 13 | <ul style="list-style-type: none"> ・多世代・幅広い住民の参加、地域リーダーの育成 ・コミュニティ活動の発信方法の工夫 ・コミュニティビジネスの可能性、商店街ゾーンの活用 ・中学のバス通学費の助成、通学路の安全確保 ・高齢者の買い物利便性の向上 ・ひとり暮らし高齢者のための介護施設の充実 ・地域内での福祉拠点の充実、医療福祉施設の活用 ・小中学校との連携強化、学童保育 ・在宅児への園庭開放・一時預かりの充実 など |
| 農業の担い手育成 | 2 | |
| 交通利便性、買物利便性の向上 | 15 | |
| 地域の安全確保 | 14 | |
| 高齢者支援の充実 | 20 | |
| 子育て環境の充実 | 18 | |
| その他 | 4 | |

◆地域のありたい姿を実現するための取組について（重要だと思う取組を1人5点選ぶ） ※0点の項目は削除

| 実現に向けた取組 | 点数 | 実現に向けた取組 | 点数 |
|--|----|----------------------------------|----|
| ●地域のあたたかさを感じることができるために <50> | | | |
| 若い人や子どもと一緒にイベントを企画、実施する | 6 | 子どもを呼び込む企画を検討する | 6 |
| おもしろ座で軽音楽をする | 5 | 親子による地域の清掃活動を実施する | 1 |
| 気軽に声がけとあいさつをする | 14 | 回覧板は声をかけて回す | 3 |
| 地域の行事に積極的に参加する（子どもと一緒に） | 3 | 子ども会によるゴミ出しボランティア | 1 |
| 坂の途中に休憩施設（ベンチなど）を設置 | 5 | 安全灯、信号、防犯、防災活動の充実 | 6 |
| ●自然に触れる・親しむために<14> | | | |
| ホタルのヤゴを川に放流する | 1 | 清流を守る会を作る | 3 |
| 小学校と協力しクリーンアップに取り組む | 2 | 川を汚さない | 1 |
| 子どもに農作業をさせる（芋生で既に実施中） | 3 | ハイキングやスタンプラリーを通して子どもが自然に触れる機会を作る | 3 |
| 種、苗のバンクをつくり公園や歩道の緑化に取り組む | 1 | | |
| ●高齢者が生きがいを感じることができるために<46> | | | |
| 子ども会によるゴミ出しボランティア | 1 | 買い物代行（ヘルパー） | 6 |
| 地域に高齢者の憩いの場となるグループホームを作る | 3 | 地域の人材を活かして子ども達に様々なことを教える場を設ける | 9 |
| 人材バンクを作る（シルバー人材センターの地域版） | 8 | 高齢者が参加しやすい地域行事を増やす | 2 |
| 地域内を走る低料金ボランティアバス | 2 | デイサービスセンターやリハビリセンターの設置 | 15 |
| ●歴史や伝統を大切に継承するために<2> | | | |
| 芋生、若宮の歴史を勉強する会等を実施する | 2 | | |
| ●その他<22> | | | |
| 高齢者も子どもも使える遊具を設置 | 3 | コープの品ぞろえを充実 | 2 |
| 清和台中学への通学手段を確保する | 12 | けやき坂小地区の防災計画を作る | 5 |
| ●追加された主な意見 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高校通学のための日生中央方面への直通バス（3点） ・坂の途中に休憩施設をつくる ・世代間交流の充実 ・中高生向け企画の実施 ・子ども教室の充実 ・親子のコミュニケーション ・家庭教育の充実 ・子どもが関わる行事などを増やす（子どもを通じて親を教育する） ・個人の庭にももっと緑化を希望する ・通行用のトンネルに花を植えて育てる ・まちかど文庫（各バス停に設置してほしい） | | | |